

報道ご関係者各位

U Aゼンセン日本介護クラフトユニオン(NCCU)

介護事業所1,117カ所回答『新型コロナウイルスに関する緊急アンケート』中間報告

マスクの在庫「すでにない」訪問介護事業所の約3割

介護現場に衛生用品の供給を！ 高齢者の相談・受診の目安は再考を！

全国の介護従事者 約8万4,000人が集まる職業別労働組合 日本介護クラフトユニオン（東京都港区、会長 久保芳信、略称 NCCU）は、新型コロナウイルスの国内感染の拡大が懸念される状況を受け、組合員の勤務する全国4,043の介護事業所を対象に2月28日から3月4日まで緊急アンケートを実施しています。

3月1日14:00時点で、1,117事業所から回答が寄せられており、中間集計の結果、介護事業所として日常的な衛生用品（マスク、消毒液、使い捨て手袋等）が入手困難な状況であり、既に不足している事業所もあることが明らかになりました。

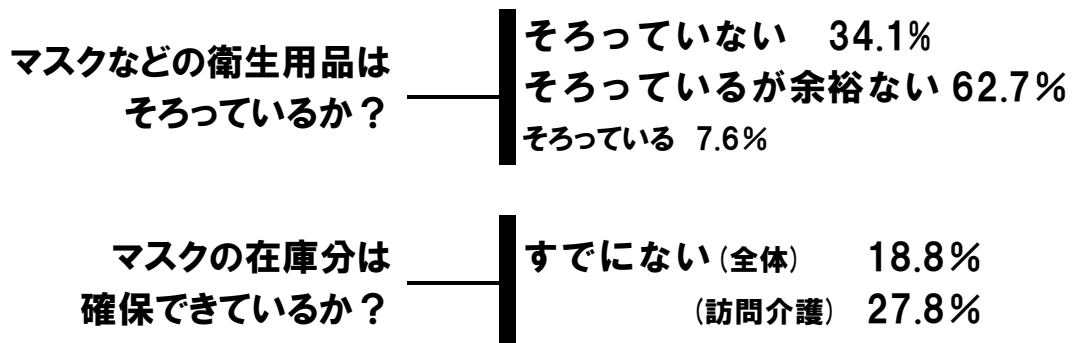
NCCUは、この切迫した状況は一刻も早く改善されなければならないと考え、現在実施中のアンケートの「中間報告」をとりまとめ、ここに公表することといたしました。

調査概要

- 調査名：『新型コロナウイルスに関する緊急アンケート』
- 期間：2020年2月28日(金)午後～3月4日(日)終日 ※現在も調査期間中
- 対象：日本介護クラフトユニオンの組合員が働く全国4,043の介護事業所
- 調査方法：上記事業所あてに一斉FAX。管理者等が記入し、FAXにて回答。

『新型コロナウイルスに関する緊急アンケート』 中間報告

3月1日(日)14:00時点の回答数……1,117事業所の回答まとめ



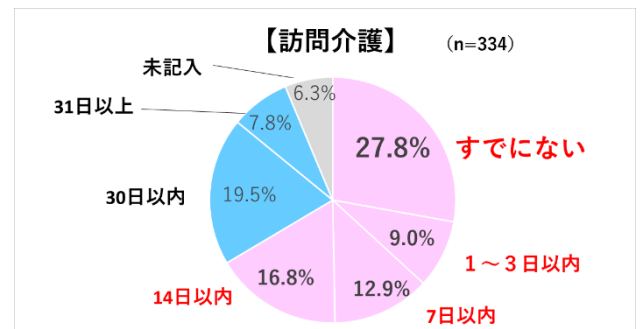
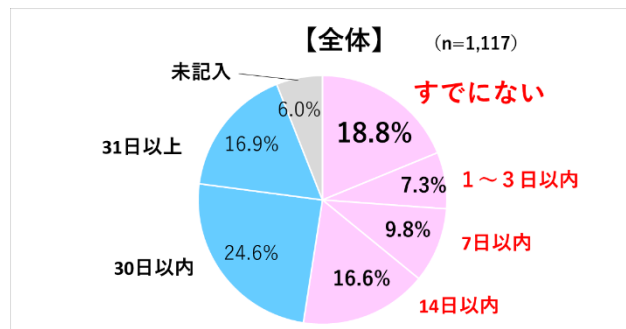
[中間報告の詳細は次ページから掲載](#)

衛生用品の過不足状況について

衛生用品（マスク、消毒液、介護用手袋、うがい薬等）はそろっていますか？（複数回答）

		全体 (n=1,117 事業所)		訪問介護 (n=334 事業所)	
そろっていて、十分余裕がある		85 カ所	7.6%	12 カ所	3.6%
そろっているが、余裕がない		700 カ所	62.7%	189 カ所	56.6%
内訳	マスク	532 カ所	47.6%	145 カ所	43.4%
	消毒液	344 カ所	30.8%	91 カ所	27.2%
	手袋	94 カ所	8.4%	29 カ所	8.7%
	うがい薬	57 カ所	5.1%	17 カ所	5.1%
そろっていない		381 カ所	34.1%	153 カ所	45.8%
内訳	マスク	340 カ所	30.4%	143 カ所	42.8%
	消毒液	193 カ所	17.3%	78 カ所	23.4%
	手袋	34 カ所	3.0%	7 カ所	2.1%
	うがい薬	59 カ所	5.3%	21 カ所	6.3%

マスクの在庫は何日分、確保できていますか？



国、自治体の対応に関して

厚生労働省は、都道府県に向けて、管内の全介護サービス事業所の各種衛生用品の不足状況を把握するよう指示を出しています。あなたの事業所には、都道府県や市町村の介護保険担当からの調査がありましたか？

全体 (1117 事業所)	あった	20.9%
	まだない	68.1%
	わからない	9.9%

厚生労働省は、高齢者への対応については、「37.5度以上の発熱または呼吸器症状が2日以上続いた場合には、保健所に設置されている『帰国者・接触者相談センター』に電話連絡し、指示を受けること」としています。これについてどう思いますか？（複数回答）

全体 (1117 事業所)	他の利用者や職員に感染しないか不安	78.4%
	2日も待たずにもっと早く処置できるよう指示してほしい	54.7%
	37.5℃以上になっても2日も待つことが不安	50.1%
	適切な指示だと思う	5.6%

国や行政への要望（自由記述）一部抜粋

お客様用マスクは少しありますが社員（スタッフ）は各自で購入しています。買えない社員（スタッフ等）はマスクをしていませんのでマスクが手に入るようお願いします。

マスクの不足は深刻。疑わしい方のところへ入るためのヘルパーさんの防護服のようなものも手に入らない。ヘルパーを守れない。

37.5度以上の発熱があるとの理由でショートステイやデイの利用を断られた利用者様のために訪問介護サービスを提供しろと言われても、ヘルパーさんがいません。行き場がなく、自宅に来てくれる人もいないような利用者様がないようにしたいが、そのための方がいません。

高齢者にとって、症状が出て2日待つことは命にかかわることだと思います。医療機関の受入れ体制の整備を急いで欲しい。マスク不足も深刻です。

日本介護クラフトユニオン（NCCU）の見解

この中間集計の結果から、介護現場では現在、介護サービス事業所としてこれまで日常的に行ってきた感染対策さえ困難な事態となっていることが明らかになりました。

厚生労働省は、都道府県に向けた2月21日付事務連絡（介護保険最新情報 Vol.766）で「管内高齢者施設等での各種衛生用品の不足状況を把握すること」「不足している衛生用品のうち、介護保険担当部局で備蓄しているものについては、不足する高齢者施設等への優先的に放出を検討すること」と指示しています。しかし、いまだに調査を受けていないと回答する事業所が多数あり、介護現場の状況把握すら進んでいないのが現状です。

NCCUは、医療・介護・福祉等の現場に優先的に必要な衛生用品が行き届くよう、政府が衛生用品の流通先についても管理すべきと考えます。

また厚生労働省は、高齢者への対応について2月24日付事務連絡（介護保険最新情報 Vol.768）で「37.5度以上の発熱または呼吸器症状が2日以上続いた場合」に指示を受けること、としています。この内容が現場に不安を広げています。介護を必要とする高齢者と元気高齢者とでは体力や抵抗力に差があることは容易に推察できます。政府は単に「高齢者や基礎疾患のある人」と一括りにした対応方針を示すだけでなく、きめ細かで適切な方針を示すべきだと考えます。

NCCUは関係議員等を通じて、早急にこの状況が改善されるよう、国をはじめ自治体に対しても働きかけていきます。

日本介護クラフトユニオン 概要

■組織名：UA ゼンセン 日本介護クラフトユニオン（略称：NCCU）

■所在地：東京都港区芝2-20-1 2友愛会館13階

■会長：久保芳信

■URL：<https://www.nccu.gr.jp/>

■本件に関するお問い合わせ（平日9:00~17:15）：**03-5730-9381**（政策部門）

（上記以外の時間帯）：090-5433-8320（染川）